

11月セミナーを11月16日(土) 13:30~15:30に行いました。

会場 愛知文教大学 201教室

テーマ 「NEXT GIGAと授業づくり」

講師 学び合う学び研究所フェロー 神戸和敏先生

本日のセミナーで学んだ中で重要だと思ったことは、GIGAのそもそもの目的である「誰一人として取り残さない」という視点は忘れてはいけないと思いました。

質問紙の内容と、実際の授業でのICTの使い方と、ICTを使っている子どもたちのギャップを埋めていけないといけないなと思いました。今日使ったタブレットを含め、自分が知らないだけでとても便利な機能がICTには眠っていると感じます。自由進度学習や複線型授業などさまざまな授業スタイルが出てきていますが、良いところをつまみ食いするためにももっともっと知っていかなければならないと思います。

本日のセミナーで学んだ中で重要だと思ったことは、だれから学ぶか、だれと学ぶか、リフレクションからの学びです。

神戸先生ありがとうございました。

どんなことが学べるのか？ととてもたのしみでした。想像していた世界や学びをはるかに超える学びがありました。

午前中に運動会があつてきつとお疲れの教頭先生も学んでおられました。運動会の疲れも神戸先生から学ぶことで昇華するからだになっておられるのかなあ？と思ってしまいました。自分がそうなので、勝手な想像です。

神戸先生には直接お伝えしましたが、おっしゃっていることと実践なされていることが同じです。情報収集を常にして、学ばれ、実践し、ご自分に身についたことやリフレクションを、私たちに現状とともに、わかりやすく言語化し、たくさんの事例等を入れて、いつも体系化、構造化して、これからの方向性までご示唆くださいます。

本日のスケジュールに「講師のリフレクション」がありました。この2時間、出てきたことを瞬時に「こう来たか」と再デザインし、余裕をもって、タクトをふるう神戸先生のようにいつかはなりたいなああとちょっとと思いました。

うれしいことに、「録画したビデオを何度みてもいいよ」とおっしゃってくださったので何度もみて、学び直そうと思います。ありがとうございました。これからもいっぱい学ばせてください。

本日のセミナーで学んだ中で重要だと思ったことは、なぜそれが必要？をまずは考えることです。

ありがとうございました。振り返りとはいえませんが、とにかく「楽しい」時間を過ごせたという感想でいっぱいです。それはきっと、日頃考えたり学校の仲間と話したりすることになかったことを話したり聞いたりできたからだだと思います。参加者の皆さんのおっしゃっていることがすべて新鮮で、心から楽しめました。ありがとうございました。

後半に3つの授業スタイルを拝見しました。どれが良い悪いではなく、どんな形、授業形態をとろうとも、なぜそれをするのか？どんな教育、どんな授業をしたいのか？というビジョンを一番に考えたいと改めて思いました。私自身は、眉間にしわを寄せて考えている子、わから

なさで頭をいっぱいにしてている子、その隣でそっと寄り添って見守っている子、朗々と語らず  
訥々と言葉にならない言葉を絞り出している子、より深く、より多く繋がりところん探究して  
いく子・・・そんな子どもたちの姿が見られる授業がしたいなといつも思っていました。ネク  
ストギガの世界で授業できる先生方がうらやましいです。

本日のセミナーで学んだ中で重要だと思ったことは、日々アップデートが必要です。

変化に対して臆病になっている部分があるのですかアンテナを高くして日々アップデート  
していく必要があることを痛感させられました。一つ一つの調査結果を斜め読みするのではな  
く結果から何を変えていくべきなのかという目線で考えていかななくてはいけないとも感じま  
した。ありがとうございました。

ICTは、これからの分かりやすい授業のために欠かせることができないと思います。先日、  
公開授業に出席したところ、4年生理科の流れる水の働きの授業で、子どもたちが撮影した画  
像をもとに、話し合いを進めていました。根拠をもとに、科学的に追求することができるのは、  
ICTの成果だと思います。科学技術の進歩により、分かりやすい授業を行うことができるよう  
になったことを嬉しく思います。

しかし、そういったICTの活用には、文部科学省や経済界の意向が反映されていることをお  
聞きしました。資料1「学習用端末のスペック変更から」、資料2「ICTを活用した学習状況」  
についてグループで話し合い、神部先生から、文部科学省や政府の動向を踏まえたお話を伺え  
学習することができました。そこに、一人一人の子どもたちの学びの保障がないような気がし  
ます。ICTの利用がなぜ必要か、他の方法よりも有益かどうかを考えることが必要だと思いま  
した。

また、今回グループで話し合うことができ有意義でした。日頃、一つのことを深く考えるとい  
う時間が不足しているように思います。決められてきたことだからということで、深く考え  
もせずに闇雲に走ってきた私は、反省しています。何か新しいことがでたときに、職員室で、  
このようにじっくりと話し合うことができる時間があればと思います。

文部科学省からは、様々な方針が出されますが、子どもたちがどのように成長したかについ  
て検証されないまま次の方針へと移っているような気がします。「個別最適な学び」と「協働的  
な学び」の一体的な充実についても、有効性はどのように検証されるのでしょうか。子どもた  
ちに指導をしている教師だけが、検証できると思います。

本日のセミナーで学んだ中で重要だと思ったことは、文科省の調査の質問内容は、こうあっ  
てほしいことである。膨大な税金を投入したGIGAスクール構想の環境を無駄にはできない。  
です。

本校がこの夏訪問した、相互交流しているオーストラリア・ビクトリア州の高校では、授業  
はフルICTだったそうだが、それが最適かどうか。日本はまだまだ途上だが、整備されたツ  
ールで最大限に効果があがる方法を模索し続けなければならない。